

成長戦略 1 | 地方創生SDGsの「深化」

— 地域への取り組み

推進体制

当社グループでは、地方創生SDGsの「深化」を進める体制を構築するため、2021年6月より従来の地区本部体制を刷新し、営業エリアに7つの地区本部を設置しています。

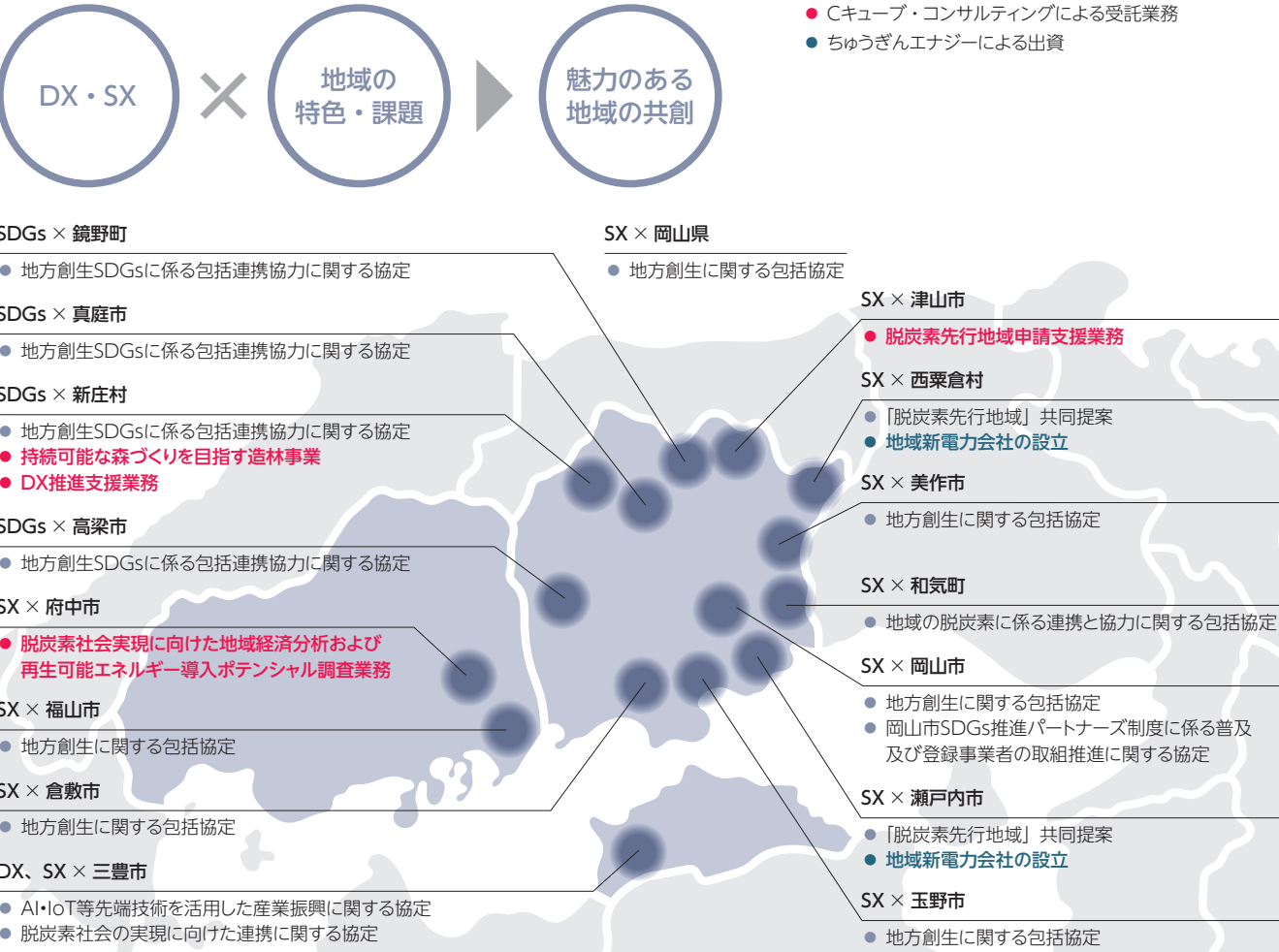
地域ごとに複雑化・多様化する課題やニーズに対して、各地区本部が独自に戦略を策定し、実行できる体制を整備することで、より地域に近い立場の地区本部が主体となっており、地域のみなさまと共に地域の活性化に取り組んでいます。

それとともに、傘下営業店と本部・グループ会社との間の橋渡しをする役割を担い、お客さまへの提案活動を支援することで、グループ全体におけるお客さまの課題解決への取り組みを一層強化しています。



地域を面で捉えた取り組み

さまざまなソリューションサービスを有するグループの強みを活かし、地域を面で捉えた取り組みを強化しています。地域のステークホルダーやパートナーとともに、DX・SX等と各地域の特色・課題を掛け合わせ「魅力ある地域の共創」に取り組んでいます。

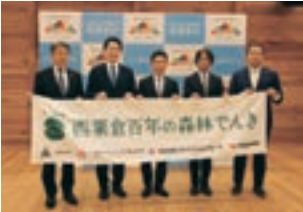


● 自治体との連携強化

各自治体との連携をさらに強固なものにするべく、2023年度では新たに4自治体と地方創生SDGsの観点での連携協定を締結しました。

2023年度の締結先

- 新庄村 「地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定」
 鏡野町 「地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定」
 岡山市 「岡山市SDGs推進パートナーズ制度に係る普及及び登録事業者の取組推進に関する協定」
 三豊市 「脱炭素社会の実現に向けた連携に関する協定」



● SXに関する主な取り組み

- 新庄村 持続可能な森づくりを目指す造林事業委託業務の受託
 津山市 脱炭素先行地域申請支援業務の受託
 西粟倉村 新電力会社「西粟倉百年の森林でんき株式会社」に出資
 瀬戸内市 新電力会社「瀬戸内市民電力株式会社」に出資

● DXに関する主な取り組み

- 新庄村 新庄村DX推進支援業務の受託
 岡山市 「エンペイ for 中国銀行」を公立幼保施設（93施設）に導入



地域社会とのコミュニケーション

● 文化・スポーツ支援

地元スポーツチームである「岡山シーガルズ」「岡山リベッツ」「ファジアーノ岡山」「トライフープ岡山」「岡山湯郷Bell」を支援しています。2023年度から新たに開催された「おかやまアーツフェスティバル」へは協賛をはじめイベント会場の貸出しに協力しました。また、2008年以降、0歳のお子さまから一緒に鑑賞いただける親子向けコンサート「親子deクラシック」を開催しており、累計2万5千人以上のみなさまにお楽しみいただいています。



岡山シーガルズ



おかやまアーツフェスティバル
(街角パフォーマンス)

● 金融教育

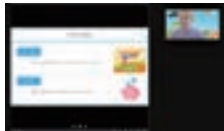
地域の金融リテラシーを高め、よりよい暮らしを送っていただくために、金融教育に取り組んでいます。特に近年は、地域等からの金融教育のニーズに応えるために、金融教育セミナー等を積極的に開催しており、開催回数も大幅な増加傾向にあります。

小中高校生向けの職場見学や出張授業をはじめ、大学生向け金融講座等、学生向けの金融リテラシー向上活動にも取り組んでいます。2006年から毎年開講している「ちゅうぎん『金融知力』講座」は、現在までに県下16大学から累計850名の大学生に受講していただきました。また、2023年度には、初めて小学生向けプログラミング教育と金融教育イベントを組み合わせた「みらいの学びフェスティバル2023オンライン」を開催し、330世帯からお申込みいただき、好評を得ました。

金融セミナー	2022年度	2023年度
開催回数	397回	1,410回
受講人数	7,985人	16,211人



岡山市内中学校での出張授業



みらいの学びフェスティバル

ちゅうぎん『金融知力』講座 受講生の声

- 本講義を受講して、金融の知識を高められたと感じており大変満足しております。今回学んだ内容は、これからの生活に応用していきたいと強く思いました。また、自分自身が今度は教師として子ども達に金融教育の重要性を伝えていきたいと思います。
- 中国銀行内部のお話や投資に関するお話など、普段聞くことのできない話題について専門知識のない人にもわかりやすく説明してくださる点がよかったと思いました。

● 社会貢献活動

交通安全意識を向上させ住みやすい街づくりにつなげることを目的に「岡山県交通安全対策協議会」へ交通安全啓発資材購入費を寄贈しました。寄贈した費用で購入されたDVDは、岡山県交通安全対策協議会から市民や団体へ貸出されています。(2023年度：329本貸出)

また、能登半島地震への支援として、被災者へ支援物資を提供したほか、当社および当社グループ役職員から日本赤十字社等を通じて寄附をおこないました。



交通安全啓発資材購入費寄贈式



能登半島地震
寄附金寄贈式

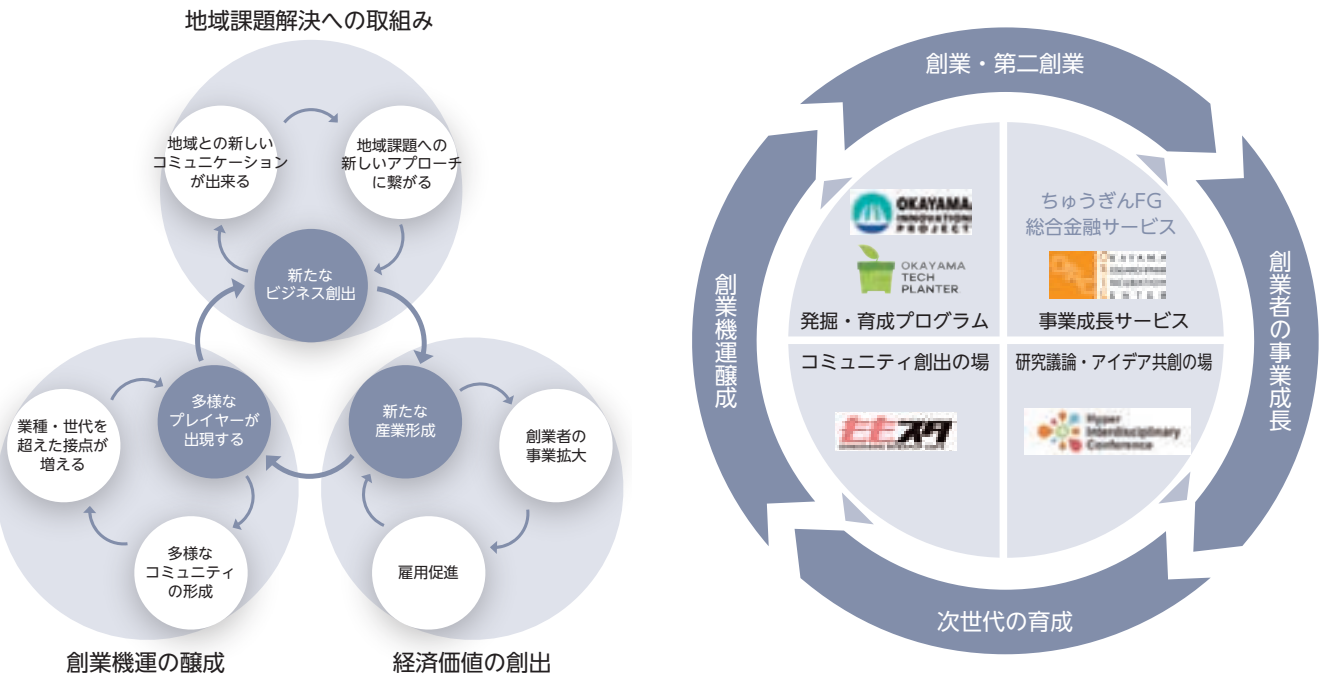
成長戦略 1 | 地方創生SDGsの「深化」

— 地域への取組み

創業支援

ちゅうぎんグループでは、地域の創業者の発掘・支援に関連する取組みを拡大しています。人口減少、経済縮小といった地域課題がある中で、地域の創業者の事業成長は地域経済の活性や地域課題への新たなアプローチの継続的な創出に寄与すると考えています。

創業支援の取組みは、地域の創業者の発掘・育成プログラム「岡山イノベーションプロジェクト」と科学技術ベンチャー支援プログラム「岡山テックプランター」を中核事業として、「地域の創業機運醸成」・「発掘した創業者の事業成長の後押し」・「次世代育成」を循環させる創業エコシステムの展開をおこなっています。



● ちゅうぎん創業融資制度「芽吹（めぶき）」の取扱開始

創業エコシステムから輩出された創業者が新しい事業を始める際に必要となる資金に対して、地域金融機関としてサポートしていくために、「ちゅうぎん創業融資制度 芽吹（めぶき）」の取扱いを開始しました。

芽吹（めぶき）を通じて、創業者の事業に対する想いや成長プランについて対話を重ねて、創業者の事業成長に対して中長期的にコミットしたサポートをおこなってまいります。

● 創業支援への取組みに関する定量説明

① 発掘・育成プログラムへの応募件数

ちゅうぎんフィナンシャルグループでは、2017年度より岡山イノベーションプロジェクトをはじめ、創業エコシステムへと取組拡大を図ってまいりました。

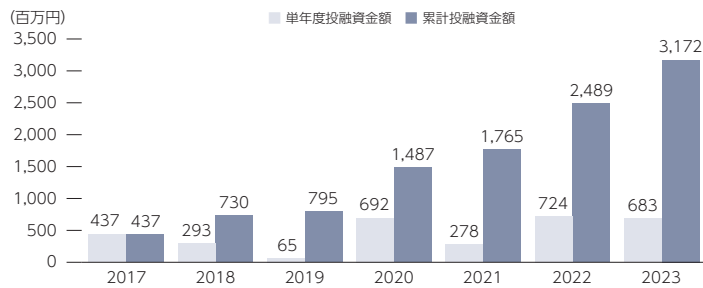
地域への創業機運の浸透を図るなかで、7年間の取組みで累計1,313件の応募をいただき、内395件が審査を通過し、本プログラムを通じて新たなビジネス創出に挑んでいます。

② 投融資実績

岡山イノベーションプロジェクト・岡山テックプランター等の発掘・育成プロジェクトに参加した創業者に対して、2017年度以降の累計で3,172百万円の投融資を実行しています。

ちゅうぎんフィナンシャルグループは、グループ横断的な総合金融サービスを提供することと、創業者と地域に対する連携促進のハブとしての役割を果たし、創業者の事業成長をサポートしてまいります。

発掘・育成プログラム参加先への投融資実績



※ 計上基準：各プログラムに参加した後に、各参加者へ投融資した金額を計上（融資は証書貸付のみを計上）

SDGsの取組み

ちゅうぎんグループ役職員一人ひとりのSDGs活動の促進および地域の課題に対し自ら考え行動するための意識の底上げ、さらには地域に対する取組みを継続しておこなうことで、外部機関・お客さまとともに「地域の持続的な発展」に貢献します。

● グループ役職員のSDGs活動や意識の底上げ

ワークショップ型研修の実施

ちゅうぎんグループ役職員に対し、SDGsに関する意識醸成のため、ワークショップ型研修「カードゲーム2050カーボンニュートラル」を導入しました。

参加者同士で対話をしながら環境課題を認識し、自身の業務が「どのように脱炭素と結びついているのか」「なぜ必要なのか」を理解し、自分ごととして行動する社員像を目指して各階層および各地区ごとに実施しています。

● 地域に対する取組み

おかやまSDGsフェアへの参画

岡山エリアにおけるSDGsの多種多様な取組みを一堂に集めて可視化し、学びと交流の機会を創出する「おかやまSDGsフェア」実行委員会に参画しています。2023年8月には「おかやまSDGsフェア2023」を初開催し、当社ブースでは「ヒト・モノ・カネ」をテーマにちゅうぎんヒューマンイノベーションズ、せとのわ、中国銀行が取組みを発信しました。会場には岡山県内外の145の企業や団体、自治体、大学、高校などがブース出展、開催2日間で来場人数はのべ4800人となりました。

フード&ライフドライブの実施

2024年3月にフードロスや子どもの貧困問題の解決に取り組むため、役職員が各家庭から食品や日用品を持ち寄り、必要としている方へ寄贈する「フード&ライフドライブ」を実施しました。集められた食品や日用品は、一般社団法人北長瀬エリアマネジメント 北長瀬コミュニティフリッジを通じて、地域の利用登録者約460世帯（2024年4月時点）に提供されます。回収期間：2024年3月13日～3月15日

ちゅうぎんアプリCM（手話・字幕付き）の制作

2024年3月に情報アクセシビリティ向上の取組みとして既存のちゅうぎんアプリCM動画の手話・字幕付き版として制作し、2024年4月より中国銀行店頭ロビーに設置しているデジタルサイネージで放映しています。障がいの有無や年齢などにかかわらず、互いにその人らしさを認め合い、共に生きる社会（共生社会）の実現を目指します。

ちゅうぎん未来へGOプロジェクトの開始

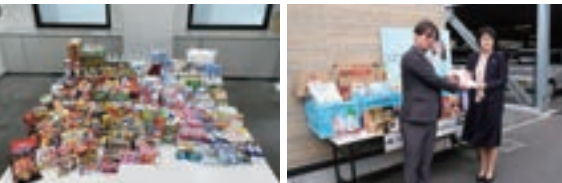
2024年4月より、紙通帳なし口座の純増数に応じて自然および環境保護等の未来に繋がる活動に寄附をおこなう「ちゅうぎん未来へGOプロジェクト」を開始しました。多くのお客さまにデジタルサービスの利便性を感じていただくとともに、省資源化に結びつくお客さまのアクションを寄附を通じて地域に還元します。第一弾はテーマを「桜街道整備」とし、2025年度に新庄村*の桜老木の植え替えにかかる費用等へ寄附を予定しています。※ 新庄村と当社は2023年5月に「地方創生SDGsに係る包括連携協力に関する協定」を締結しています。



地区ごとの支店長向け研修会



おかやまSDGsフェアロゴおよびおかやまSDGs2023開会宣言の様子



寄贈した食品・日用品および寄贈式の様子



ちゅうぎんアプリCM（手話・字幕付き）



口座開設時の手続きイメージおよび新庄村がいせん桜通り